

当院では下記のような研究を行なっております。本研究実施に際して、お問い合わせや、患者さんもしくは患者さんの代理人の方により、臨床研究への参加についてご了承頂けない場合は、研究対象としないので、以下連絡先までお申し出下さい。

なお、この研究は 2025 年 3 月 31 日まで行う予定です。

【研究題目】 癌患者における血中の免疫チェックポイント分子の定量と放射線治療効果の解析

【研究責任者】 大阪大学大学院医学系研究科 助教 玉利 慶介

【研究の目的】

免疫チェックポイント分子は癌細胞表面に発現し、免疫細胞による癌細胞への攻撃を回避する働きをもつといわれ、PD-L1, PD-L2, CTLA4, CD80, CD86 などが知られており、癌の治療抵抗性の原因のひとつとされています。また、この癌細胞表面の免疫チェックポイント分子は、細胞から外れて血中に放出されることが知られています。我々は、癌患者の血中の免疫チェックポイント分子の多い症例では放射線治療後に再発しやすく、逆に少ない症例では放射線治療後に再発しにくいのではないかと仮説を立て、その検証をすることが目的です。

【研究の対象となる方】

2019 年 1 月以降、「がん患者の臨床検体を用いた治療効果および副作用に関するゲノムプロファイリングに関する研究」もしくは「血中遊離核酸を用いたがんの治療効果に関するゲノムプロファイリング研究」に登録された方のうち、残りの血漿検体が利用できる方が対象です。

【研究に利用する項目】

血中の免疫チェックポイント分子の測定データ、診療記録と血液検査、病理検査、画像検査結果、放射線治療の線量のデータを利用します。

【個人情報等の取り扱い】

研究対象者のデータや検体から氏名等の特定の個人を識別することができることとなる記述等を削り、代わりに新しく符号又は番号をつけて匿名化を行い、研究対象者との符号（番号）を結びつける対応表を当院及び大阪大学で作成し、個人情報管理者は外部の漏れないように厳重に保管します。

【お問い合わせ先】

大阪府吹田市山田丘 2-2(D10)

大阪大学大学院医学系研究科 放射線治療学教室
玉利慶介 電話 06-6879-3482